

2月23日

2015年
月曜日

Shiroyama

Happy Card weekly paper

第4号

「 互いの良き関心が生み出すものは 理念への道につながっている 」

私が、入社したのは2002年、入社を決めたきっかけは、当時加藤社長が熱く語って下さった社会への使命感や、ビジョンに対する想いでした。

それは、「五体満足に生まれたこの幸せを、社会に何か恩返しできるような会社を創っていきたい。」この言葉を聴いて、社長が創造していきたい会社の実現は、自分自身の夢の実現をも、同時に達成できるのではないかと、という想いが、その時の私の心に芽生えたのです。

社会に恩返しができる会社とは、そこに働く人たち、社員やその周りが幸せである事、つまり理念の達成が不可欠である事は間違いありません。

そしてそれを、確かめ合うツールが、私はHappy Cardではないかと思っています。

マザー・テレサの名言に「愛の反対は憎しみではなく無関心です」という言葉がありますが「Shiroyama」という場所が、ただ時間の切り売りの場ではなく、互いに良い関心を寄せ合い、認め合う場所となること。

菜の花色の素敵なカードに、時に感謝の念を、時に賞賛の言葉を、時に互いの成長の為に、想いを込めて贈るこの取組みこそ、理念の達成(ここに集う全ての人達と幸福である事)に通じるのではないのでしょうか。



Shiroyama

管理部長 J